



2015年(平成27年)10月期

# 第2四半期決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ 中浜 勇治

(東京証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2015年6月19日

## ●目次

<b>PART1 会社の概要</b>	<b>3</b>
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
<b>PART2 2015年10月期第2四半期の連結業績</b>	<b>6</b>
1. 四半期連結損益計算書	7
2. 売上高・四半期純利益の増減要因	8
3. セグメント業績	
●木材事業	9
●ハウス・エコ事業	10
●アミューズメント事業	11
●不動産事業	12
4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結 キャッシュ・フロー計算書	13

<b>PART3 市場環境と取組みの進捗状況</b>	<b>14</b>
●木材事業の市場環境 ①	15
●木材事業の市場環境 ②	16
●木材事業：取組みの進捗状況	17
●ハウス・エコ事業の市場環境①	18
●ハウス・エコ事業の市場環境②	19
●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況	20
●アミューズメント事業の市場環境 と取組みの進捗状況	21
<b>PART4 2015年10月期の業績予想</b>	<b>22</b>
1. 連結業績予想(通期)	23
2. 予想配当	24
●本資料お取扱上のご注意	25
●IR担当窓口	26

PART1

# 会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

## ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	171人(2015年4月末現在)
連結売上高	92億円(2014年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電パネル等の施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル

### ●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

## 経営理念

# 顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様利益を還元していく」という意味をあらわしております。

## ■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成12年12月	パナマにTUI MARITIME S.A.を設立 (平成26年9月解散)
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量 35,000トン)完成、航海開始(H26.5売却)
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜木材株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場 (現東京証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始(H26.11閉鎖)
		平成22年2月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始

PART2

2015年10月期第2四半期の連結業績

# 1. 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

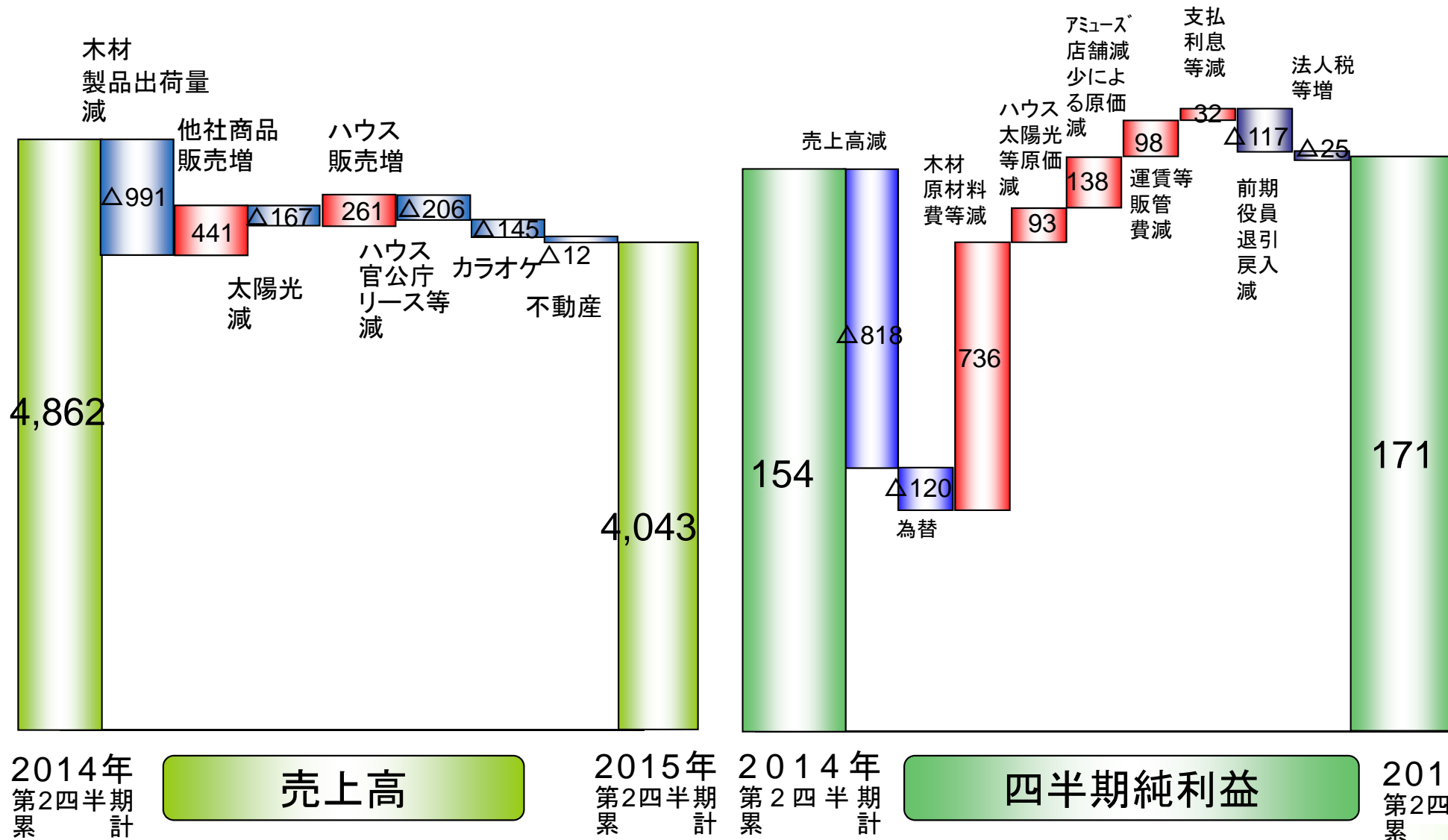
	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	2015年 第2四半期累計 当初業績予想	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比	業績 予想比
売上高	4,862	100.0%	3,702	4,043	100.0%	83.2%	109.2%
売上総利益	679	14.0%	652	708	17.5%	104.2%	108.4%
販売費及び 一般管理費	564	11.6%	506	465	11.5%	82.5%	91.9%
営業利益	115	2.4%	146	242	6.0%	210.3%	165.6%
経常利益	71	1.5%	134	229	5.7%	322.6%	171.4%
四半期純利益	154	3.2%	89	171	4.3%	111.2%	191.4%
1株当たり 四半期純利益	89.30円	—	51.88円	99.31円	—	—	—

- 木材事業は自社製品出荷減、他社商品販売増、ハウス・エコ事業は太陽光減、ハウス販売物件増で売上高は前年同期比で16.8%の減収にとどまる。
- 木材事業の製品販売単価の上昇、商品販売増等により四半期純利益は11.2%増益



## 2. 売上高・四半期純利益の増減要因

(単位:百万円)





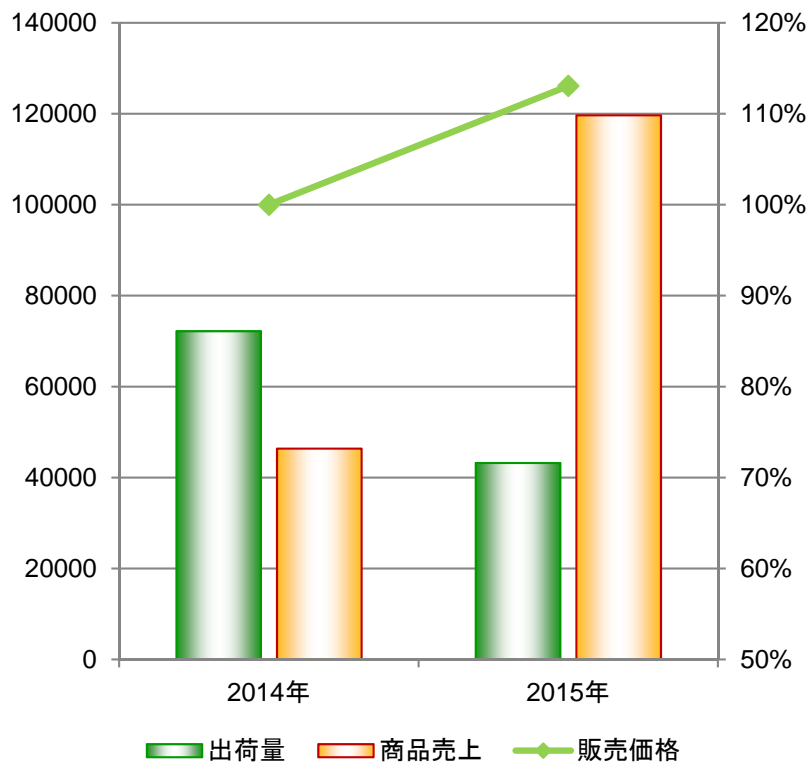
### 3. セグメント業績

### ● 木材事業

- 自社製品出荷量は前年同期比で40.1%減少したものの、製品の販売価格は13.1%上昇し、安定的に利益を確保
- 国産材等他社商品売上高が前年同期比で275.0%増加し、利益を上積み。

■ 出荷量と製品販売価格、商品売上

(単位:m<sup>3</sup>、千円、%)



■ 木材事業の業績

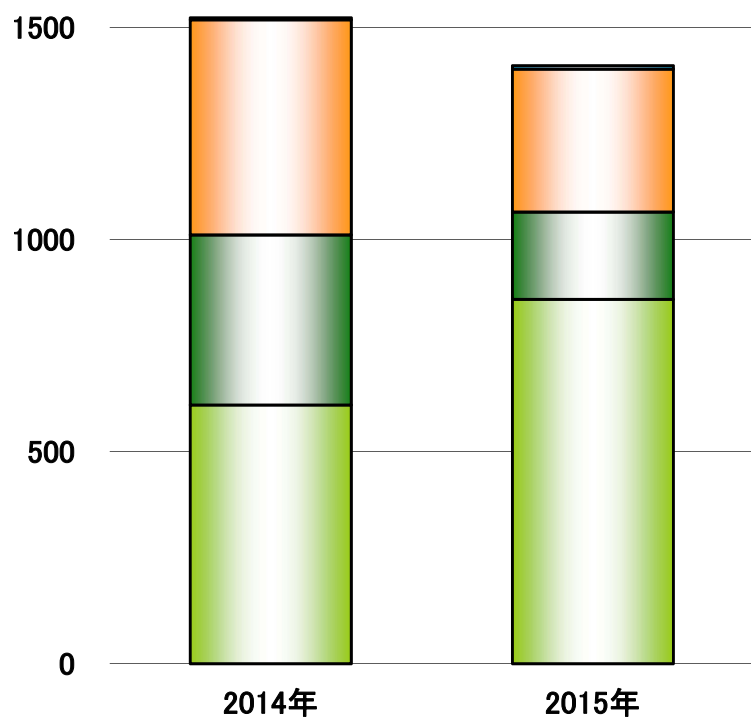
(単位:百万円)

	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	2,951	100.0%	2,401	100.0%	81.4%
営業費用	2,894	98.1%	2,187	91.1%	75.6%
営業利益	56	1.9%	213	8.9%	375.8%
平均為替 レート(円)	100.52	—	112.99	—	112.4%

## ● ハウス・エコ事業

- 太陽光の大型案件が減少し、減収。
- プレハブハウスの販売物件が増加。

■ ハウス、太陽光 第2四半期前年同期比売上げ (百万円)



□ハウス一般販売  
□太陽光

□ハウス賃貸  
□売電収入

■ ハウス・エコ事業の業績 (単位:百万円)

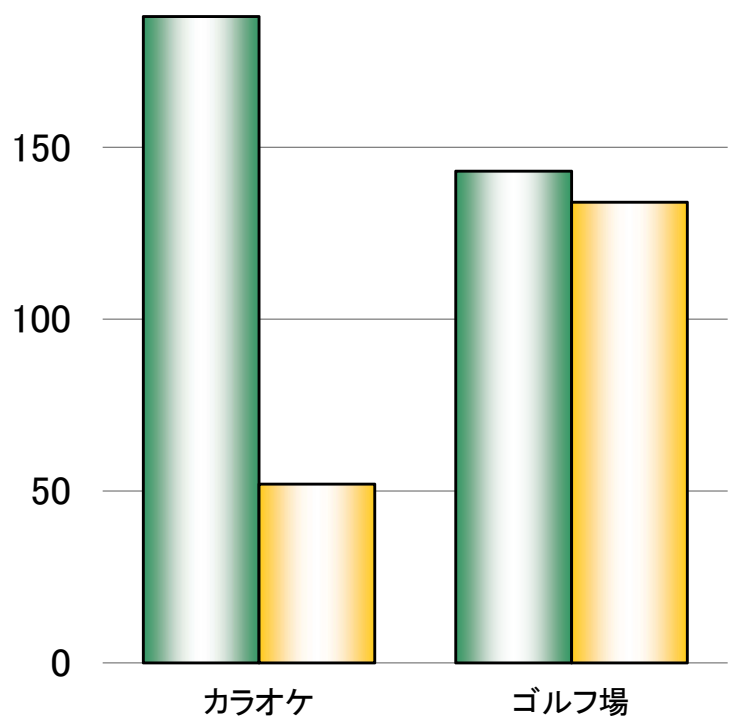
(単位:百万円)

	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	1,522	100.0%	1,410	100.0%	92.7%
営業費用	1,409	92.5%	1,304	92.5%	92.6%
営業利益	113	7.5%	105	7.5%	93.2%

## ● アミューズメント事業

- カラオケ事業の売上高は6店舗の売却・閉鎖等により減少(前年同期比28.1%)、ゴルフ場は悪天候により微減(同比93.3%)
- カラオケ店舗の減少により、上半期の本店経費が吸収できず、営業損失が増加。

■ カラオケ店舗及びゴルフ場売上  
前年同期比(百万円)



□ 2014年2nd □ 2015年2nd

■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	331	100.0%	186	100.0%	56.3%
営業費用	333	100.9%	195	104.8%	58.5%
営業損失(△)	△2	—	△8	—	—

## ● 不動産事業

- 賃貸収入は増加(前年同期比104.0%)、売買売上高は、売買の引渡物件がなかったため減少。

### ■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	2015年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	56	100.0%	44	100.0%	78.9%
営業費用	31	55.9%	18	41.5%	58.6%
営業利益	24	44.1%	26	58.5%	104.7%

## 4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書

### ■要約四半期連結貸借対照表

(百万円)	2014年 第2四半期末	構成比	2015年 第2四半期末	構成比	増減	主な要因
流動資産	4,673	54.8%	5,170	61.5%	497	現預金、売上債権、棚卸資産の増加、前渡金の減少
固定資産	3,853	45.2%	3,230	38.5%	△622	船舶、カラオケ店舗等の売却による減少
資産合計	8,526	100.0%	8,400	100.0%	△125	
流動負債	3,889	45.6%	3,228	38.4%	△660	短期借入金、一年内返済予定の長期借入金の減少
固定負債	4,209	49.4%	3,468	41.3%	△740	長期借入金、資産除去債務の減少
負債合計	8,098	95.0%	6,696	79.7%	△1,401	
純資産	428	5.0%	1,703	20.3%	1,275	利益剰余金の増加
負債及び純資産合計	8,526	100.0%	8,400	100.0%	△125	

### ■要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2014年 第2四半期	2015年 第2四半期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	770	61	売上債権、棚卸資産の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13	△135	社用資産取得による支出の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	296	短期借入金の増加
現金及び現金同等物の四半期末残高	673	896	

自己資本比率  
**5.0%** **20.3%**

有利子負債比率  
**68.9%** **55.1%**

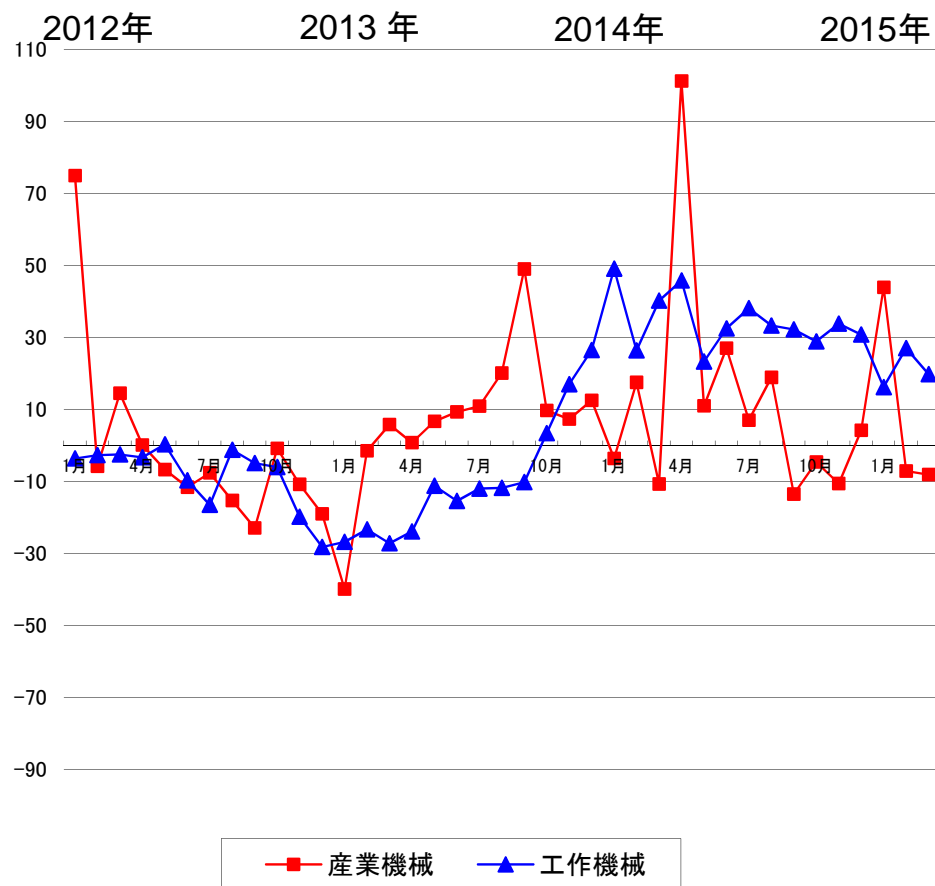
PART3

# 市場環境と取組みの進捗状況

## ● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

### ■ 産業機械及び工作機械の受注状況

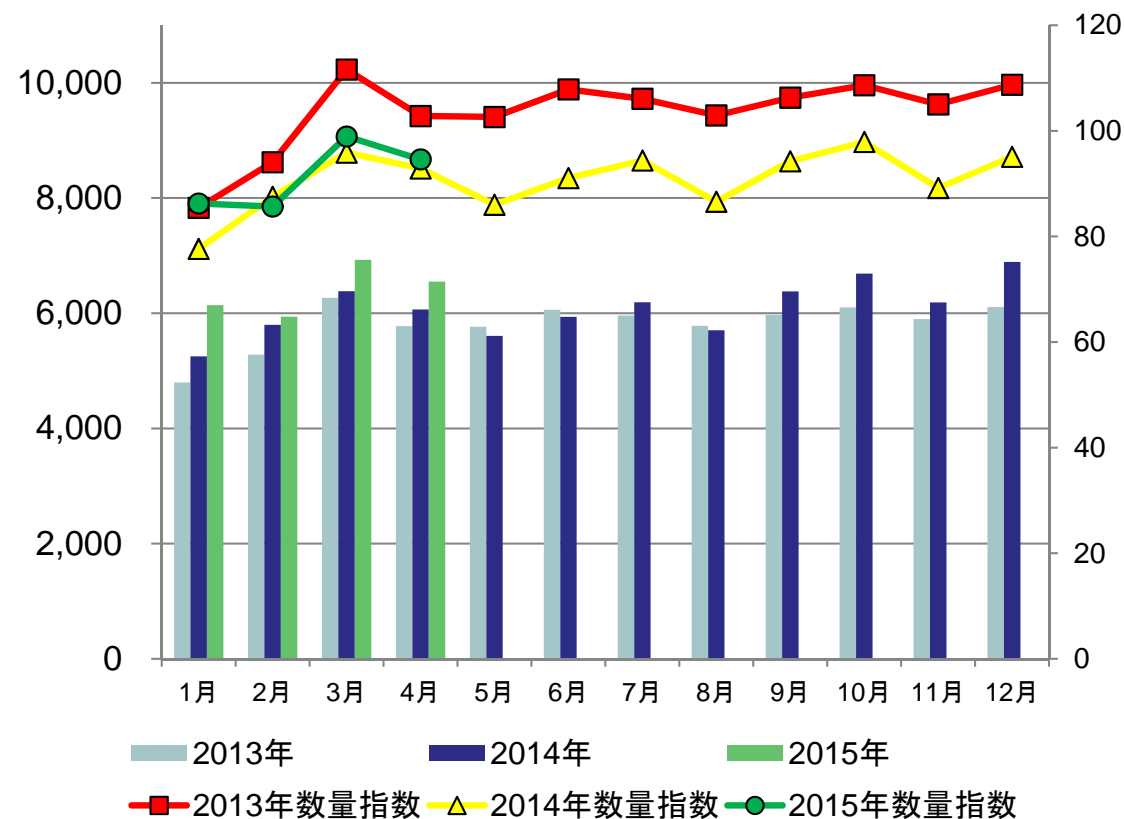
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査  
前年同月比 (%)



### ■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円,%)



### 輸出金額及び輸出数量

※輸出数量指数は2010年を100とした数値。

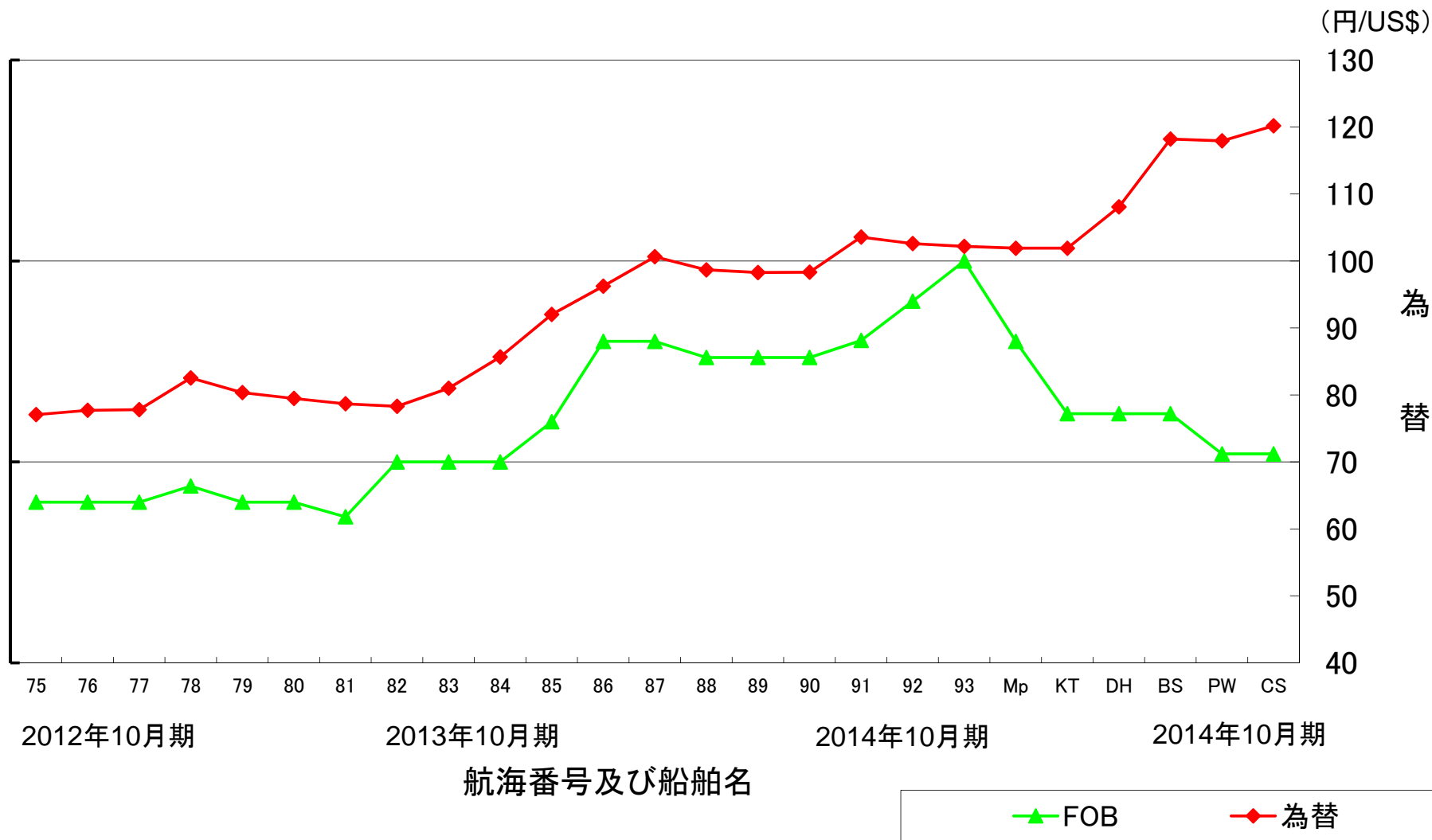
- 産業機械・工作機械等の受注は低調。 輸出量は伸びず。
- 上半期の梱包市場はリーマン・ショック後同様まで低迷。回復は秋口以降か。



● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・FOBの推移

■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)  
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



● 為替は直近で120円ドル台の円安へ、FOB価格は下落。

※FOB価格とは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

## ● 木材事業：取組みの進捗状況

■ 出荷量 43,256m<sup>3</sup>(予算比97.2%)、適正価格による販売(予算比103.1%)

- 本社工場で生産するニュージーランド材製材品を適正価格で販売。  
(月間平均原木消化11,367m<sup>3</sup> 予算比98.8%、月間平均製品出荷7,209m<sup>3</sup> 予算比97.2%)

■ 国産材(杉、ひのき、北海道カラマツ)、外材、LVL等商品の拡販

- 既存の販売ルートを活用しニュージーランド材以外の商品を販売。

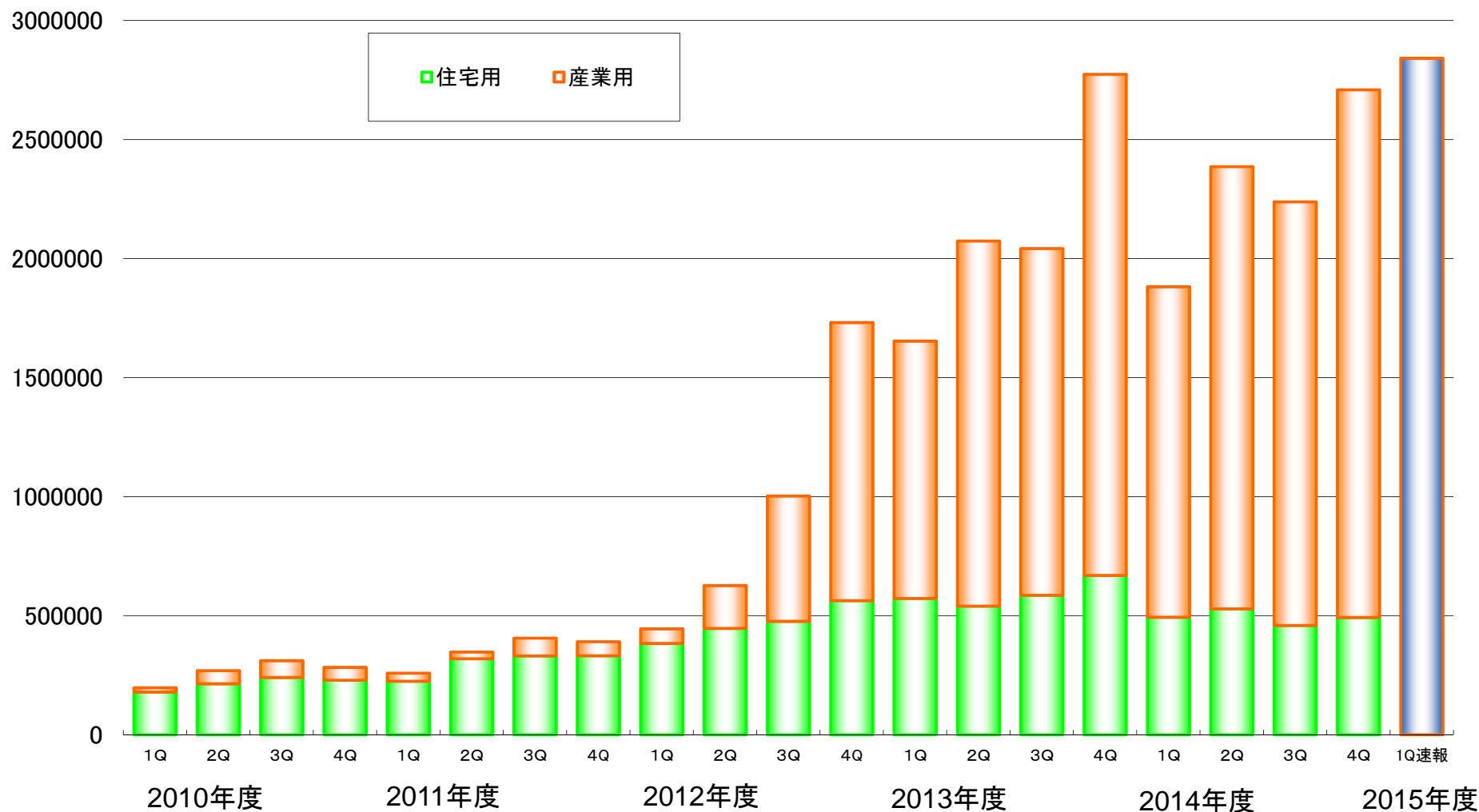
第2四半期累計商品売上高 601百万円(予算比249.4%)

商品売上高の推移(千円)



●ハウス・エコ事業の市場環境①

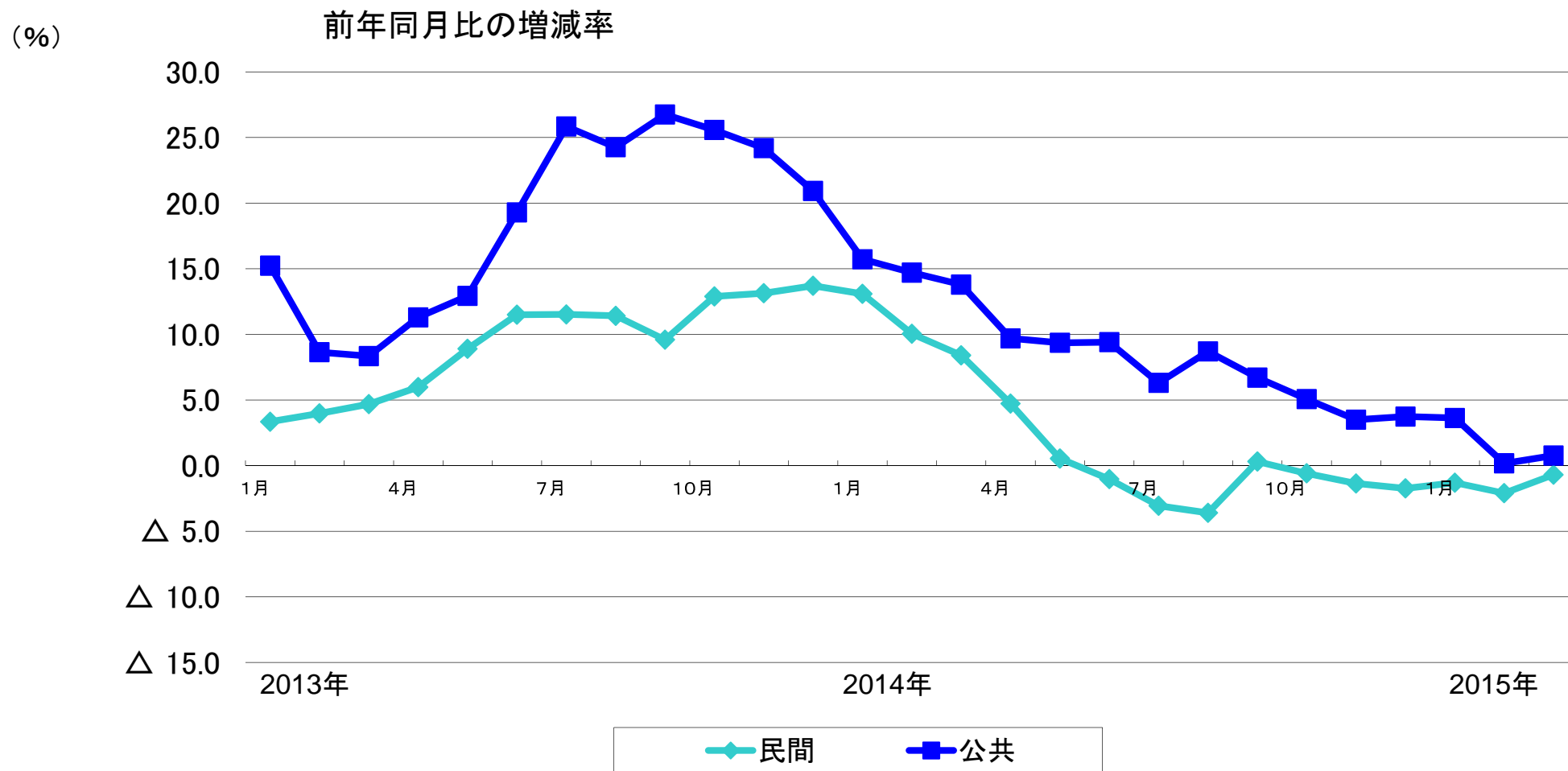
■日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向) 太陽光発電協会調べ



●2014年度4Qと2015年度1Q速報では、制度変更前の駆け込みで増加している。

●ハウス・エコ事業の市場環境②

■建設総合統計(出来高ベース) 国土交通省



●建設需要は、2015年に入り下げ止まり。

## ●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況

### ■再生エネルギー政策の転換に合わせて提案・受注を取り込む。

- 年度末までの設備認定済みを中心とした大型案件や50kW以下の低圧案件の取り込み。

5月末現在

50kW以下 5件完工(売上高 47百万円)

50kW～100kW 4件完工(売上高 62百万円)

100kW超 4件完工(売上高267百万円) 5月末現在 太陽光受注残 560百万円

- アフターサービスや関連機器等の周辺事業、エネルギー事業への取り組み。

バイオマス発電について、事業化を継続検討。

### ■堅調な建設需要を取り込む。

- 学校の耐震改修のための仮設校舎等や放課後児童クラブ等の公共工事や民間の設備投資などプレハブハウスの受注を取り込む。

官公庁の放課後児童クラブ等 8件完工(売上高約6億円) 5月末現在

5月末現在 ハウス受注残 539百万円

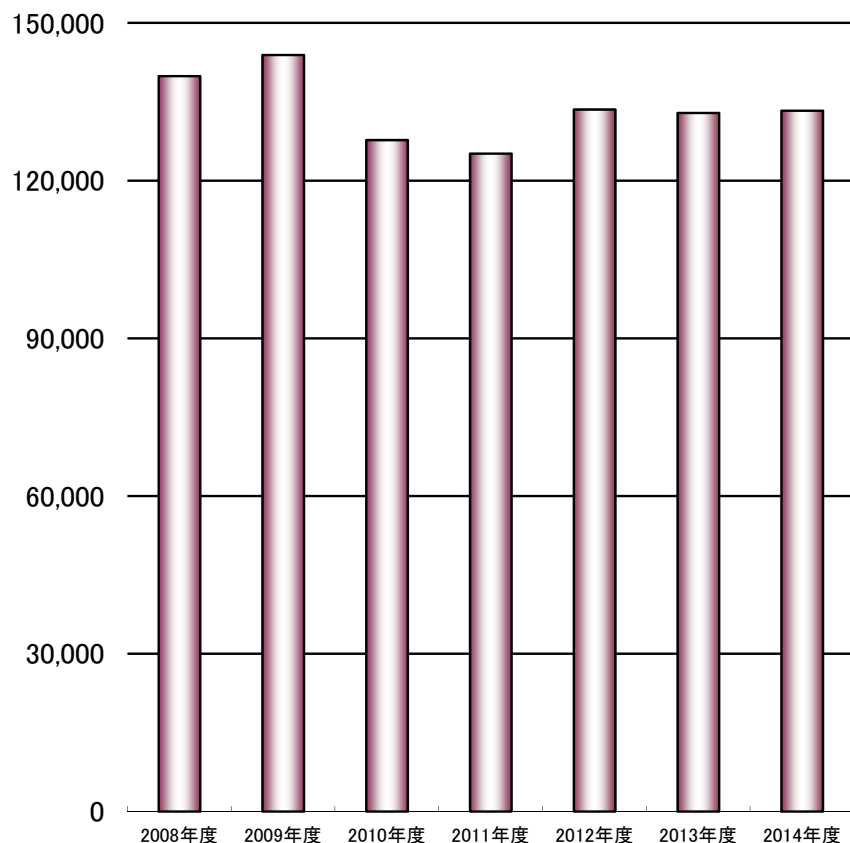
- 営業、現場管理の人員の増強、組織の若返り。

営業1名、建築士等の技術者 4名 採用 今後も採用を継続

### ■自社の太陽光発電設備 稼働中のものも含め計画が4.2メガから6メガに増加。

## ● アミューズメント事業の市場環境と取組みの進捗状況

■ カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高の合計を掲載しております。

## ● 取組みの進捗

### ■ カラオケ事業の縮小

- 6店舗を売却及び閉店。残り1店舗も閉店予定。

### ■ 新規事業の検討

- フィットネスクラブなど健康事業を検討

- カラオケ大手チェーン店の売上高は1社を除き増加、大手の出店競争が加速。

- カラオケは縮小し、撤退予定。新規事業としてフィットネスクラブ等を検討。

PART4

# 2015年10月期の業績予想



# 1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2014年	百分比	2015年	百分比	前期比
売上高	9,219	100.0%	7,839	100.0%	85.0%
売上総利益	1,522	16.5%	1,330	17.0%	87.4%
販売費及び一般管理費	1,029	11.2%	1,050	13.4%	102.1%
営業利益	493	5.3%	280	3.6%	56.8%
経常利益	409	4.4%	244	3.1%	59.8%
当期純利益	1,241	13.5%	222	2.8%	17.9%
1株当たり当期純利益	717.20円	—	128.44円	—	—

- 上半期は、売上、利益共に業績予想を上回ったが、足元の木材市況等を保守的にとらえて、業績見込みは据え置き。

## 4. 予想配当

	期末配当	配当性向
2014年 10月期	10円	1.4%
2015年 10月期	10円	7.8%

## ●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス

総務部 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: [ir@orvis.co.jp](mailto:ir@orvis.co.jp)

URL: <http://www.orvis.co.jp>